

2013年12月21日(土)

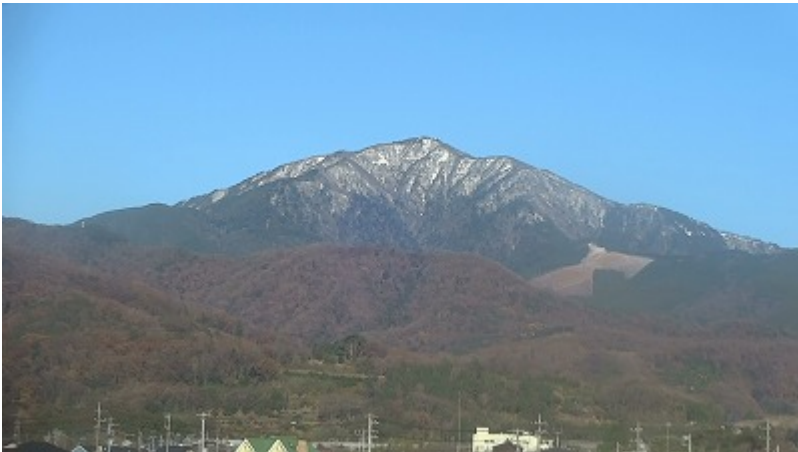
高松山(801m)

レポート by 熊本(写真: 鵜飼、石井、高橋雄、熊本)

2013年の有終の美を飾る忘年登山は丹沢山地の高松山(801m)で低山ではありますが、富士山の眺めがよく、前日の強風、雷、寒い一日から一転して、風がなく暖かで澄んだ青空に映えた秀麗富士を見ながらのハイクとなりました。初参加の萩野さんを迎え、布目さん、鵜飼さん、石井さん、高橋雄さん、熊本の6名です。



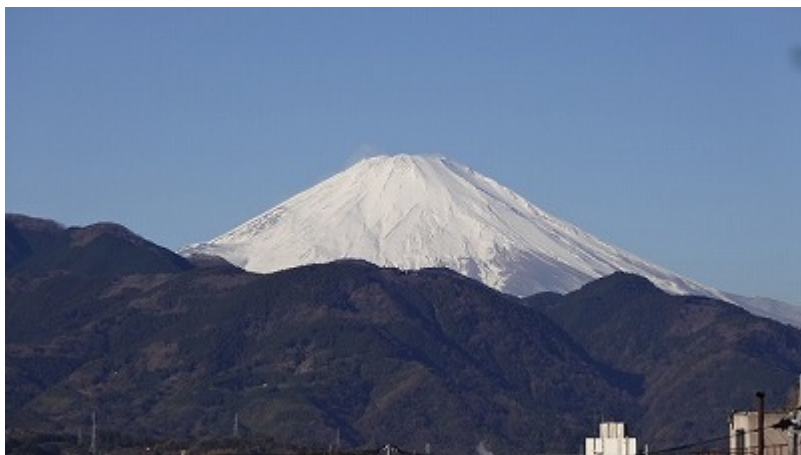
6時少し前に、日の出を拝みながら家を出発。



相鉄線で海老名から小田急に乗り換え、新松田に向かう。
伊勢原付近から見た大山は昨夜の降雪で白く染まっていた。



秦野から渋沢、新松田の区間は先頭車両から真正面に富士山が見える楽しい旅ができる。
写真は秦野から渋沢の間で撮った。



新松田駅の2F から富士山が青空にクッキリ



新松田駅 9:20 に 6 名全員が集まって、新参加の萩野さん（右から二人目）と挨拶を交わして、9:35 の西丹沢自然教室行のバスに乗る。



バスの中からも富士山が見えた。



20 分ほどで、目的地の高松山入口バス停に着く (9:55)



道路を渡り右手に入り正面の山に向かう。



途中、モミジの木が一本色鮮やかだった。



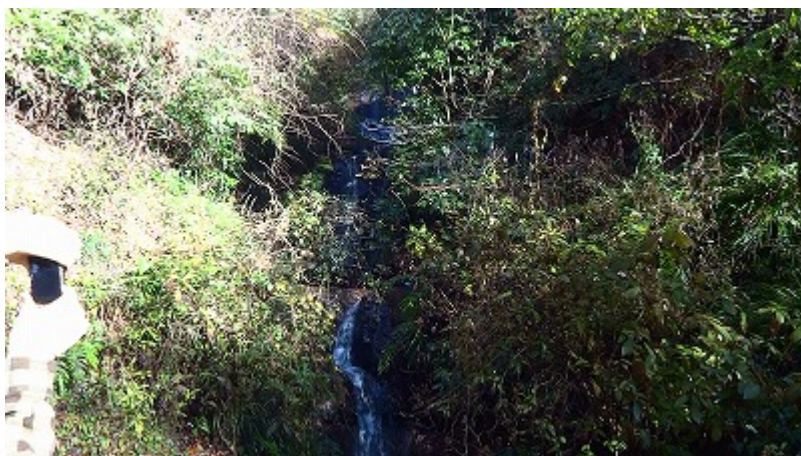
5分ほど歩いて標識に従って川を渡る。



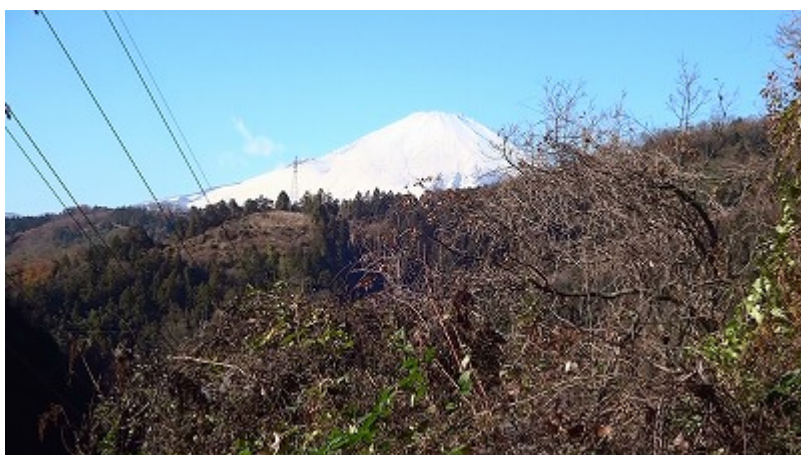
ミカンや夏みかん畑を過ぎて・・



登山口近くに登山道の案内図があり、最初の集合写真を撮る。



暫く進むと「山ゆりの滝」に出会う。夏頃は山ゆりが咲くのだろうか？



緩やかな傾斜の舗装道路を 30 分ほど進み、振り返ると富士山の真っ白な頂が覗いていた。



更に高度を上げると五合目くらいまで姿を現す。



歩き始めて 50 分、富士山の見晴台のベンチがあった。(10:50)



見晴台からの富士山



一時間あるいても延々と舗装道路歩きで結構、車も通るが、終始、富士山を眺められるので楽しい。

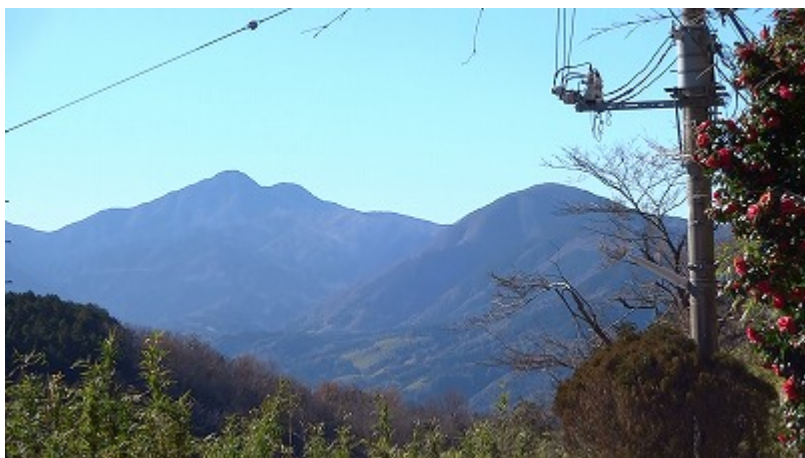


富士山をバックに・・・



少し、雲が出始めたが、富士山の手前に浮いている程度だ。





モミジの木の下にスイセンの群生があった。



金時山





スミレ似のピンカミノール（薄紫）だそうだ。



1 時間 45 分経過し、やっと高松山への山道への分岐。ここで一息入れる。
（11:45）ここから山頂まで 40 分。



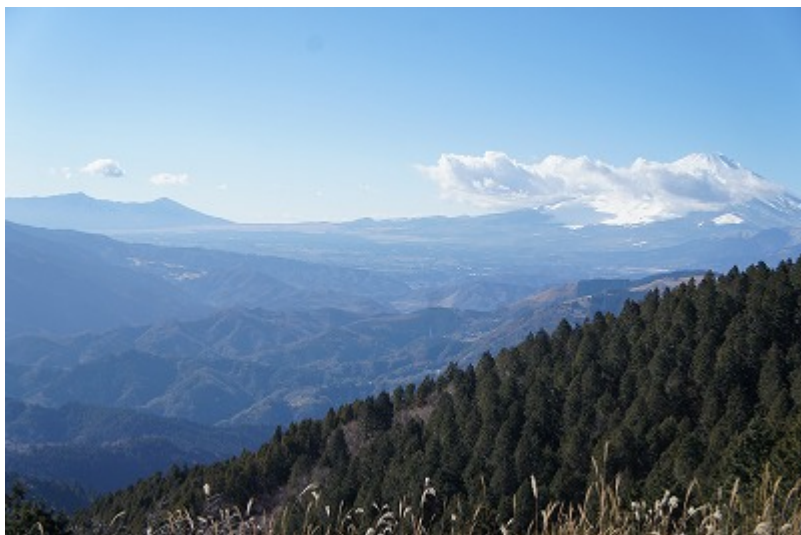
標高 700m 付近では昨夜降った雪がまだ解けずに残っていた。



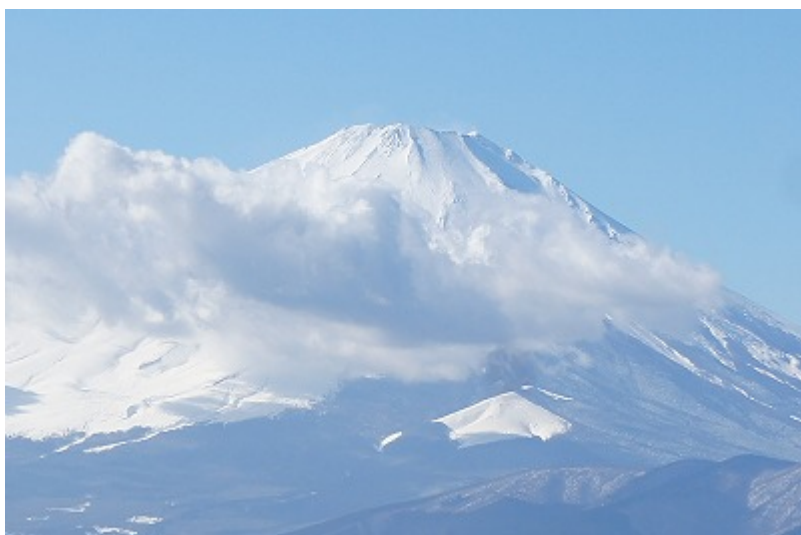
やっと山道となり勾配もきつくなる。



山道登山道を 30 分ほどで、男坂・女坂の分岐があり、標高 800m 近くまで登ってきており山頂は近い。



12:20 予定通り 801m の高松山山頂に到着。富士山の左は愛鷹山



山頂からの富士山、雲は手前の御殿場上空である。



山頂で昼食。

赤ワインで乾杯。石井さんが食材を持ち込み、味噌汁を全員に振舞う。

暖かくて美味しかった。日差しが暖かく、のんびりと昼食を楽しんだ。

次回はうどんが食べたいとか寄せ鍋にしようとか、言いたい放題を言う人が一人いた。



山頂の標識を囲んで・・・



山頂で富士山をバックに・・・



たっぷりの時間をかけて昼食・休憩して、下山に入る。下りは、ビリ堂コースを取った。



下りの北斜面には昨夜の雪がたっぷり残っていた。



ビリ堂への分岐。
ビリ堂まで 20 分。



ビリ堂の「ビリ」は観音様を設置する最後の意味だそうだ。



14:50 の登山口の高松山入口のバス停に到着した。14:58 のバスに乗る予定だったが、時刻表にはなく、タクシーを二台頼み、新松田駅へ行った。



小田急で鶴巻温泉へ向かう。
布目さん、萩野さんは温泉に寄らず、まっすぐ帰路に就く。



男性4人は鶴巻温泉「弘法の里湯」で入浴休憩し帰路についた。

忘年登山は風がなく暖かく秀麗「富士山」を堪能した一日でした。